

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
区分	理工系女性教育		
担当教員			
齋藤 貴 教授、 外部講師(吉田 涼平)			

授業概要	<p>近年、社会ニーズの多様化に伴い、女性の活躍する場が増えているにもかかわらず、理工系女性技術者は未だ少なく、さらにリーダーシップを持って技術革新を牽引する女性技術者数は希薄な現状にある。本科目は、学科での基礎・専門教育に加え、理工系女性向けの教育・学修を体系化した教育を行うことにより、将来、技術社会で専門職務を牽引する役割を担う女性人材育成を強化することを狙いとしており、理工系女性教育プログラムの入り口にあたる必修科目である。授業では、技術社会の理解、女性キャリア職の現状と将来像、ジェンダーとワークライフバランス、キャリアプラン設計等について、基本を学んだ上で、その後の教育プログラムの各科目へつなげていく導入科目である。</p> <p>教育目標・達成度目標 DP1 43% [5h]、 DP5 57% [6.67h]</p> <p>DP1 自然科学の基礎知識、技術者としての情報やデータサイエンスのリテラシーを身に付けている。 DP5 主体的な学修姿勢を持ち、粘り強い探求姿勢と技能向上に努める姿勢を身に付けている。 これを野能力を備え、技術系職業人としての社会的責任や倫理観を理解している。</p>								
到達目標	到達目標	対応するDP							
1	自然科学の基礎知識、技術者としての情報やデータサイエンスのリテラシーを身に付けている。	DP1							
2	主体的な学修姿勢を持ち、粘り強い探求姿勢と技能向上に努める姿勢を身に付けている。これを野能力を備え、技術系職業人としての社会的責任や倫理観を理解している。	DP5							
履修条件、他科目との関係	<ul style="list-style-type: none"> 理工系女性教育プログラムにおいて、スタートとなる必修科目である。教育プログラムの2年生以上の科目を履修するには、本科目を修得していなければならない。また、本科目「理工系キャリア開発」を含み、各講座から1科目以上を修得して計5単位以上で、卒業時に修了証を授与する。 工学部と情報学部の学生が履修対象です。 理工系女性教育プログラムの教育理念や育成方針、主旨を十分理解した上で履修してください。 キャリア外科目で、成績表には任意科目で加算されます。 								
授業形式、形態	<ul style="list-style-type: none"> 対面式授業 夏季に集中授業(3日間、全7回授業)で実施します。実施時期は4月初頭のガイダンスでお知らせします。 アクティブラーニング学修形式で授業を進めますので、授業に主体的に臨む姿勢で学んで下さい。 講義内容によって、グループワーク活動を行うため、積極的に自分の意見や考えを発信して下さい。 								
評価方法	<p>評価方法</p> <table border="0"> <tr> <td>教員による達成度評価</td> <td>評価割合</td> </tr> <tr> <td>DP1 課題やミニレポートなどで評価(第1回～第3回の授業)</td> <td>43 %</td> </tr> <tr> <td>DP5 課題やミニレポートなどで評価(第4回～第7回の授業)</td> <td>57 %</td> </tr> </table> <p>備考：達成度評価の合計が、達成目標の60%以上であれば合格となり、単位認定(N評価)となる。</p>			教員による達成度評価	評価割合	DP1 課題やミニレポートなどで評価(第1回～第3回の授業)	43 %	DP5 課題やミニレポートなどで評価(第4回～第7回の授業)	57 %
教員による達成度評価	評価割合								
DP1 課題やミニレポートなどで評価(第1回～第3回の授業)	43 %								
DP5 課題やミニレポートなどで評価(第4回～第7回の授業)	57 %								
学修上のアドバイス(課題フィードバック)	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進行に沿って、課題やミニレポートなどを課しますので必ず実施し提出してください。 理工系女性教育プログラムの教育理念や主旨を十分理解した上で履修してください。 学修における振り返りをしっかり行いながら、学んだことや理解したことが確実に身に付くよう自己評価もしながら学修を進めていきましょう。 								
教科書	書名	著者名							
	出版社	出版年	ISBN						
	フリー欄								
授業参考図書	書名	著者名							
	出版社	出版年	ISBN						
	フリー欄								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 理工系女性教育プログラムの教育理念や主旨を十分理解した上で履修してください。 大学卒業後、将来進みたい業種や職業などがまだ決まっていなくても、また、かなえたい夢などが今現実にはわからなくても履修できます。本教育プログラムを通して、自分の将来について考えていく機会にもなりますので、しっかり授業に参加していきましょう。 授業は学科混在型になりますので、他学科の学生や先生方との交流があり、広い専門分野の仲間作りができます。 								
授業計画	回数	学修内容	学修課題(30分以上学修すること)						

	第1回	ガイダンス IT時代とAI時代	事前学修	25歳から65歳までのキャリアプランを作成する（5歳刻みでその時の仕事の状態／プライベートの状態を記載する）
			事後学修	振り返り学修（小テスト）を行う
	第2回	女性キャリアの歴史と今	事前学修	1日目研修として第1回を含む
			事後学修	1日目研修として第1回を含む
	第3回	ジェンダーと科学	事前学修	1日目研修として第1回を含む
			事後学修	1日目研修として第1回を含む
	第4回	女性リーダーシップ	事前学修	自分にとっての「ワークライフバランス」とはどんなものかをまとめておく
			事後学修	振り返り学修（小テスト）を行う
	第5回	ワークライフバランス	事前学修	2日目研修として第4回を含む
			事後学修	2日目研修として第4回を含む
	第6回	キャリアロードマップの作成	事前学修	（本科目を受ける前に）第1回事前学修にて作成したキャリアプランに赤字修正を行う
			事後学修	振り返り学修（小テスト）を行う
	第7回	戦略的なキャリアプランニング	事前学修	3日目研修として第6回を含む
			事後学修	3日目研修として第6回を含む
備考				